



# CHAPTER 56

## Call Home の設定

この章では、Catalyst 4500 シリーズ スイッチに Call Home 機能を設定する方法について説明します。



(注)

この章のスイッチ コマンドの構文および使用方法の詳細については、『*Catalyst 4500 Series Switch Cisco IOS Command Reference*』および次の URL の関連マニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/ps6350/index.html>

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Call Home の概要」 (P.56-1)
- 「Smart Call Home の取得方法」 (P.56-2)
- 「Call Home の設定」 (P.56-3)
- 「担当者情報の設定」 (P.56-4)
- 「宛先プロファイルの設定」 (P.56-5)
- 「アラート グループへの登録」 (P.56-6)
- 「一般的な電子メール オプションの設定」 (P.56-9)
- 「Call Home のイネーブル化」 (P.56-10)
- 「Call Home 通信のテスト」 (P.56-10)
- 「Smart Call Home の設定およびイネーブル化」 (P.56-13)
- 「Call Home 設定情報の表示」 (P.56-13)
- 「デフォルト設定」 (P.56-18)
- 「アラート グループ トリガー イベントおよびコマンド」 (P.56-18)
- 「メッセージ コンテンツ」 (P.56-21)

## Call Home の概要

Call Home は、クリティカルなシステム イベントを 電子メール ベースおよび Web ベースで通知します。多種多様なメッセージ形式を使用でき、ポケットベル サービス、標準の電子メール、または XML ベースの自動解析アプリケーションに最大限に対応します。この機能の一般的な利用方法には、ネットワーク サポート エンジニアのダイレクト ページング、ネットワーク オペレーション センターへの電子メール通知、サポート Web サイトへの XML 配信、Cisco Smart Call Home サービスを利用したシステムズ Technical Assistance Center (TAC) の直接ケース生成などがあります。

Call Home 機能は、設定、診断、環境状態、コンポーネント、syslog イベントの情報を含むアラートメッセージを配信できます。

Call Home 機能は、複数の受信側（*Call Home* 宛先プロファイルと呼ばれる）に配信できます。宛先プロファイルごとにメッセージ形式とコンテンツ カテゴリを設定可能です。TAC（[callhome@cisco.com](mailto:callhome@cisco.com)）にアラートを送信する、あらかじめ定義された宛先プロファイルが用意されています。また、独自の宛先プロファイルを定義することもできます。

柔軟なメッセージ配信オプションや形式オプションにより、各サポート要件を簡単に組み込むことができます。

Call Home 機能には次の利点があります。

- 複数のメッセージ形式オプション：
  - ショートテキスト：ポケットベルまたはレポートの印刷に最適です。
  - プレーンテキスト：読みやすさを重視した構成のメッセージ情報。
  - XML：Extensible Markup Language（XML）および Adaptive Markup Language（AML） Document Type Definition（DTD）を使用した共通表示形式。Cisco TAC とは XML 形式で送信できます。
- 同時メッセージの宛先を複数設定できます。
- 設定、診断、環境状態、コンポーネント、syslog イベントなど、複数のメッセージカテゴリ
- 重大度やパターンマッチによるメッセージのフィルタリング
- 定期メッセージ送信のスケジューリング

## Smart Call Home の取得方法

サービス契約を直接シスコシステムズと取り交わしている場合、装置を Smart Call Home サービスに登録できます。Smart Call Home では、ご使用の装置から送信された Call Home メッセージを分析し、背景説明や推奨事項を示すことによって、システムの問題を迅速に解決します。特に既知の GOLD 診断障害と見なされる問題については、Cisco TAC で自動サービス リクエストが生成されます。

Smart Call Home には次の機能があります。

- シャーシ内のラインカードおよびスーパーバイザに関する診断アラートの起動。
- 装置から送られる Call Home メッセージの分析、場合に応じて、自動サービス リクエスト生成と適切な TAC チームへの回覧。このリクエストには問題を迅速に解決するための詳細な診断情報が含まれています。
- セキュア メッセージの転送。装置からの直接転送、またはダウンロード可能な Transport Gateway（TG）集約ポイント経由の転送があります。TG 集約ポイントは、複数装置のサポートが必要な場合、またはインターネットに装置を直接接続できないセキュリティ要件が規定されている場合に使用できます。
- Call Home メッセージと推奨事項、すべての Call Home 装置に関するコンポーネント情報と設定情報への Web ベース アクセス。関連する Field Notice（FN）、セキュリティ勧告、および End of Life（EOL; 廃止）情報にアクセスできます。

次の項目を登録する必要があります。

- スイッチの SMARTnet 契約番号
- 電子メール アドレス
- Cisco.com ID

Smart Call Home の詳細については、次の URL にある Smart Call Home のページを参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv_home.html)

## Call Home の設定

Call Home 設定は、機能の使用目的に応じて異なります。Call Home を設定する前に次の事項に注意してください。

- 少なくとも 1 つの宛先プロファイル（既定またはユーザー定義）を設定する必要があります。使用する宛先プロファイルは、受信エンティティがポケットベルか、電子メールか、Cisco Smart Call Home などの自動サービスかによって変わります。
  - 宛先プロファイルが電子メール メッセージ配信を使用する場合、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP; シンプル メール転送プロトコル) サーバを指定する必要があります。
  - 宛先プロファイルが Secure HyperText Transfer Protocol (HTTPS; セキュア ハイパーテキスト転送プロトコル) メッセージ転送を使用する場合、トラストポイント Certificate Authority (CA; 認証局) を設定する必要があります。
- 受信したメッセージの送信元を受信側で判断できるように、担当者の電子メール、電話番号、および番地の情報を設定する必要があります。
- スイッチと電子メール サーバまたは宛先 HTTP サーバとの IP 接続が必要です。
- Cisco Smart Call Home を使用する場合、有効なサービス契約が設定する装置に対応している必要があります。

Call Home を設定する手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** サイトの担当者情報を設定します。
  - ステップ 2** 目的の各受信側に対応する宛先プロファイルを設定します。
  - ステップ 3** 各宛先プロファイルを 1 つまたは複数のアラート グループに登録し、アラート オプションを設定します。
  - ステップ 4** 転送方式に応じて、電子メール設定または HTTPS 設定 (CA 証明書など) を行います。
  - ステップ 5** Call Home 機能をイネーブルにします。
  - ステップ 6** Call Home メッセージをテストします。
- 



### ヒント

Call Home 機能を Smart Call Home および Cisco TAC とともに使用する場合、Smart Call Home Web アプリケーションからその設定に役立つ基本設定スクリプトをダウンロードできます。このスクリプトは、Smart Call Home サービスとセキュアな通信を行うために、トラストポイント CA を設定する際にも有用です。提供されるスクリプトに保証はありません。このスクリプトは次の URL からダウンロードできます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv_home.html)

---

## 担当者情報の設定

担当者の電子メール アドレスは各スイッチに必要です。場合に応じて、電話番号、番地、契約 ID、カスタマー ID、サイト ID を追加することもできます。

担当者情報を指定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードを開始します。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>contact-email-addr</b> <i>email-address</i>	カスタマーの電子メール アドレスを指定します。電子メール アドレス形式で 200 文字まで（スペースなし）入力できます。
ステップ 4	Switch(cfg-call-home)# <b>phone-number</b> <i>+phone-number</i>	(任意) カスタマーの電話番号を指定します。 <b>(注)</b> 番号は、プラス (+) から始め、ハイフン (-) と数字だけで 16 文字まで入力できます。スペースが含まれる場合は、入力を引用符 (" ") で囲む必要があります。
ステップ 5	Switch(cfg-call-home)# <b>street-address</b> <i>street-address</i>	(任意) Return Materials Authorization (RMA) 機器を発送するカスタマーの番地を指定します。200 文字まで入力できます。スペースが含まれる場合は、入力を引用符 (" ") で囲む必要があります。
ステップ 6	Switch(cfg-call-home)# <b>customer-id</b> <i>text</i>	(任意) カスタマー ID を指定します。64 文字まで入力できます。スペースが含まれる場合は、入力を引用符 (" ") で囲む必要があります。
ステップ 7	Switch(cfg-call-home)# <b>site-id</b> <i>text</i>	(任意) カスタマー サイト ID を指定します。200 文字まで入力できます。スペースが含まれる場合は、入力を引用符 (" ") で囲む必要があります。
ステップ 8	Switch(cfg-call-home)# <b>contract-id</b> <i>text</i>	(任意) カスタマーのスイッチ契約 ID を指定します。64 文字まで入力できます。スペースが含まれる場合は、入力を引用符 (" ") で囲む必要があります。

次に、担当者情報を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# call-home
Switch(cfg-call-home)# contact-email-addr username@example.com
Switch(cfg-call-home)# phone-number +1-800-555-4567
Switch(cfg-call-home)# street-address "1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345"
Switch(cfg-call-home)# customer-id Customer1234
Switch(cfg-call-home)# site-id Site1ManhattanNY
Switch(cfg-call-home)# contract-id Company1234
Switch(cfg-call-home)# exit
Switch(config)#
```

## 宛先プロファイルの設定

宛先プロファイルには、アラート通知に必要な配信情報が含まれています。少なくとも 1 つの宛先プロファイルが必要です。1 つ以上のタイプの宛先プロファイルを複数設定できます。

あらかじめ定義された宛先プロファイルを使用するか、任意のプロファイルを定義できます。新しい宛先プロファイルを定義する場合は、プロファイル名を割り当てる必要があります。



**(注)** Cisco Smart Call Home サービスを使用する場合、宛先プロファイルには XML メッセージ形式を使用する必要があります。

次の属性を宛先プロファイルに設定できます。

- プロファイル名：ユーザ定義の各宛先プロファイルを一意に識別する文字列。設定できるプロファイル名は 31 文字までで、大文字と小文字は区別されません。**all** はプロファイル名として使用できません。
- 転送方式：電子メールまたは HTTP（HTTPS を含む）のアラート配信用転送メカニズム。
  - ユーザ定義の宛先プロファイルの場合、デフォルトは電子メールです。いずれかまたは両方の転送メカニズムをイネーブルにできます。両方の方式をディセーブルにすると、電子メールがイネーブルになります。
  - あらかじめ定義された Cisco TAC プロファイルの場合、いずれかの転送メカニズムをイネーブルにできますが、同時にはイネーブルにできません。
- 宛先アドレス：転送方式に対応する実際のアドレス。このアドレスにアラートが送信されます。
- メッセージ形式：アラートの送信に使用されるメッセージ形式。
  - ユーザ定義の宛先プロファイルの場合、形式オプションは、ロングテキスト、ショートテキスト、または XML です。デフォルトの設定は XML です。
  - あらかじめ定義された Cisco TAC プロファイルでは、XML しか使用できません。
- メッセージサイズ：最大宛先メッセージサイズ。有効範囲は 50 ~ 3,145,728 バイトであり、デフォルトは 3,145,728 バイトです。

宛先プロファイルを作成して設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードを開始します。
ステップ3	Switch(cfg-call-home)# <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルに対応する Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを開始します。指定された宛先プロファイルが存在しない場合は、プロファイルが作成されます。
ステップ4	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>[no] destination transport-method {email   http}</b>	(任意) メッセージ転送方式をイネーブルにします。転送方式をディセーブルにするには、 <b>no</b> オプションを使用します。

	コマンド	目的
ステップ 5	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>destination address</b> {email email-address   http url}	Call Home メッセージが送信される宛先電子メール アドレスまたは URL を設定します。  (注) 宛先 URL を入力する場合、サーバがセキュア サーバであるかどうかに応じて、 <b>http://</b> または <b>https://</b> を追加してください。宛先がセキュア サーバであれば、トラストポイント CA を設定することも必要です。
ステップ 6	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>destination preferred-msg-format</b> {long-text   short-text   xml}	(任意) 優先メッセージ形式を設定します。デフォルトの設定は XML です。
ステップ 7	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>destination message-size-limit</b> bytes	(任意) 宛先プロファイルの最大宛先メッセージ サイズを設定します。
ステップ 8	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>active</b>	宛先プロファイルをイネーブルにします。デフォルトでは、プロファイルは作成時にイネーブルにされます。
ステップ 9	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>exit</b>	Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを終了し、Call Home 設定サブモードに戻ります。
ステップ 10	Switch(cfg-call-home)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 11	Switch# <b>show call-home profile</b> {name   all}	指定されたプロファイル、または設定されたすべてのプロファイルに応じた宛先プロファイル設定を表示します。

## 宛先プロファイルのコピー

既存の宛先プロファイルをコピーして、新しいプロファイルを作成するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードを開始します。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>copy profile</b> source-profile target-profile	既存の宛先プロファイルと同じ設定内容で、新しい宛先プロファイルを作成します。

## アラート グループへの登録

アラート グループは、スイッチでサポートされる Call Home アラートのサブセットとしてあらかじめ定義されています。各種の Call Home アラートがタイプに応じてさまざまなアラート グループに分類されています。使用できるアラート グループは、次のとおりです。

- 設定
- 診断
- 環境
- コンポーネント
- Syslog

各アラート グループのトリガー イベントを「アラート グループ トリガー イベントおよびコマンド」(P.56-18) に、アラート グループ メッセージのコンテンツを「メッセージ コンテンツ」(P.56-21) に示します。

宛先プロファイルで受信するアラート グループは、1 つまたは複数を選択できます。



(注) Call Home アラートは、その Call Home アラートが属するアラート グループに登録している宛先プロファイルだけに送信されます。また、アラート グループはイネーブルにする必要があります。

宛先プロファイルをアラート グループに登録するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードを開始します。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>alert-group</b> { <b>all</b>   <b>configuration</b>   <b>diagnostic</b>   <b>environment</b>   <b>inventory</b>   <b>syslog</b> }	指定されたアラート グループをイネーブルにします。すべてのアラート グループをイネーブルにするには、キーワード <b>all</b> を使用します。デフォルトでは、すべてのアラート グループがイネーブルになっています。
ステップ 4	Switch(cfg-call-home)# <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルに対応する Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを開始します。
ステップ 5	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group configuration</b> [ <b>periodic</b> { <b>daily</b> hh:mm   <b>monthly</b> date hh:mm   <b>weekly</b> day hh:mm}]	この宛先プロファイルを設定アラート グループに登録します。「 <a href="#">定期通知の設定</a> 」(P.56-8) に説明するように、設定アラート グループは、定期通知用に設定できます。
	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group all</b>	利用可能なすべてのアラート グループに登録します。
ステップ 6	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group diagnostic</b> [ <b>severity catastrophic</b>   <b>disaster</b>   <b>fatal</b>   <b>critical</b>   <b>major</b>   <b>minor</b>   <b>warning</b>   <b>notification</b>   <b>normal</b>   <b>debugging</b> ]	この宛先プロファイルを診断アラート グループに登録します。「 <a href="#">メッセージ重大度しきい値の設定</a> 」(P.56-8) に説明するように、診断アラート グループは、重大度に基づいたメッセージのフィルタリングを設定できます。
ステップ 7	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group environment</b> [ <b>severity catastrophic</b>   <b>disaster</b>   <b>fatal</b>   <b>critical</b>   <b>major</b>   <b>minor</b>   <b>warning</b>   <b>notification</b>   <b>normal</b>   <b>debugging</b> ]	この宛先プロファイルを環境アラート グループに登録します。「 <a href="#">メッセージ重大度しきい値の設定</a> 」(P.56-8) に説明するように、環境アラート グループは、重大度に基づいたメッセージのフィルタリングを設定できます。
ステップ 8	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group inventory</b> [ <b>periodic</b> { <b>daily</b> hh:mm   <b>monthly</b> date hh:mm   <b>weekly</b> day hh:mm}]	この宛先プロファイルをコンポーネントアラート グループに登録します。「 <a href="#">定期通知の設定</a> 」(P.56-8) に説明するように、コンポーネントアラート グループは、定期通知用に設定できます。
ステップ 9	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group syslog</b> [ <b>severity catastrophic</b>   <b>disaster</b>   <b>fatal</b>   <b>critical</b>   <b>major</b>   <b>minor</b>   <b>warning</b>   <b>notification</b>   <b>normal</b>   <b>debugging</b> ] [ <b>pattern string</b> ]	この宛先プロファイルを Syslog アラート グループに登録します。「 <a href="#">メッセージ重大度しきい値の設定</a> 」(P.56-8) に説明するように、Syslog アラート グループは、重大度に基づいたメッセージのフィルタリングを設定できます。syslog メッセージ内で照合するパターンを指定できます。パターンにスペースが含まれる場合は、引用符 (" ") で囲む必要があります。
ステップ 10	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>exit</b>	Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを終了します。

## 定期通知の設定

宛先プロファイルを設定アラート グループまたはコンポーネント アラート グループに登録する場合、アラート グループ メッセージは、非同期で、または指定時刻に定期的に受信するように選択できます。送信間隔は次のいずれかになります。

- 毎日：24 時間表記の時:分形式 *hh:mm* で送信時刻を指定します（例：14:30）。
- 毎週：*day hh:mm* 形式で曜日および時刻を指定します。省略形の曜日は使用できません（例：monday）。
- 毎月：*date hh:mm* 形式で 1 ~ 31 日および時刻を指定します。

## メッセージ重大度しきい値の設定

宛先プロファイルを診断、環境、または Syslog アラート グループに登録する場合は、アラート グループ メッセージをメッセージの重大度に基づいて送信する際のしきい値を設定できます。しきい値より低いメッセージは宛先に送信されません。

重大度しきい値は、表 56-1 のキーワードを使用して設定します。重大度は catastrophic（レベル 9、最高レベルの緊急性）から debugging（レベル 0、最低レベルの緊急性）まであります。重大度しきい値が設定されない場合、デフォルトは normal（レベル 1）です。



(注)

Call Home 重大度は、システム メッセージ ログイング重大度とは異なります。

表 56-1 重大度と Syslog レベルのマッピング

レベル	キーワード	Syslog レベル	説明
9	catastrophic	該当なし	ネットワーク全体に及ぶ深刻な障害
8	disaster	該当なし	ネットワークへの重大な影響
7	fatal	Emergency (0)	システム使用不可能
6	critical	Alert (1)	クリティカルな状態、ただちに注意が必要
5	major	Critical (2)	メジャーな状態
4	minor	Error (3)	マイナーな状態
3	warning	Warning (4)	警告状態
2	notification	Notice (5)	基本の通知および情報メッセージ、個々にはほとんど注意不要
1	normal	Information (6)	通常状態への復帰を示す通常イベント
0	debugging	Debug (7)	デバッグ メッセージ

## Syslog パターンマッチの設定

宛先プロファイルを Syslog アラート グループに登録する場合は、各 syslog メッセージ内で照合するテキスト パターンを設定することもできます。パターンを設定すると、指定されたパターンを含み、重大度しきい値を満たす Syslog アラート グループ メッセージだけが送信されます。パターンにスペースが含まれる場合は、設定時に引用符 (" ") で囲む必要があります。宛先プロファイルごとに 5 つのパターンまで指定できます。



## 一般的な電子メール オプションの設定

電子メール メッセージ転送を使用するには、シンプル メール転送プロトコル (SMTP) 電子メール サーバ アドレスを少なくとも 1 つ設定する必要があります。差出人および返信の電子メール アドレスを設定できるとともに、バックアップ電子メール サーバを 4 台まで指定できます。また、電子メール メッセージおよび HTTP メッセージのレート制限を設定することもできます。

一般的な電子メール オプションを設定するには、次の作業を実行します。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードを開始します。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>mail-server</b> { <i>ipv4-address</i>   <i>name</i> } <b>priority number</b>	電子メール サーバ アドレス、および設定された電子メール サーバ間の相対的なプライオリティを割り当てます。  次のいずれかの方法で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子メール サーバの IP アドレス</li> <li>電子メール サーバの Fully Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) (64 文字まで)</li> </ul> 1 (最高のプライオリティ) ~ 100 (最低のプライオリティ) のプライオリティ番号を割り当てます。
ステップ 4	Switch(cfg-call-home)# <b>sender from</b> <i>email-address</i>	(任意) Call Home 電子メール メッセージの差出人フィールドに表示される電子メール アドレスを指定します。アドレスを指定しなければ、担当者の電子メール アドレスが使用されます。
ステップ 5	Switch(cfg-call-home)# <b>sender reply-to</b> <i>email-address</i>	(任意) Call Home 電子メール メッセージの返信フィールドに表示される電子メール アドレスを指定します。
ステップ 6	Switch(cfg-call-home)# <b>rate-limit</b> <i>number</i>	(任意) 1 分間に送信されるメッセージ数の上限を、1 ~ 60 で指定します。デフォルト値は 20 です。
ステップ 7	Switch(cfg-call-home)# <b>vrf</b> <i>vrf-name</i>	(任意) Call Home 電子メール メッセージを送信する VPN Routing/Forwarding (VRF; VPN ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF を指定しなければ、グローバルルーティングテーブルが使用されます。

一般的な電子メール オプションを設定する際には、次の事項に注意してください。

- バックアップ電子メール サーバは、プライオリティ番号を変えて **mail-server** コマンドを実行することによって定義できます。
- mail-server priority number** パラメータは、1 ~ 100 を設定できます。最高のプライオリティ (最小のプライオリティ番号) を与えられたサーバから処理されます。

次に、一般的な電子メール パラメータ (プライマリおよびセカンダリ電子メール サーバなど) を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
```

```

Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Switch(config)# call-home
Switch(cfg-call-home)# mail-server smtp.example.com priority 1
Switch(cfg-call-home)# mail-server 192.168.0.1 priority 2
Switch(cfg-call-home)# sender from username@example.com
Switch(cfg-call-home)# sender reply-to username@example.com
Switch(cfg-call-home)# exit
Switch(config)#

```

## Call Home のイネーブル化

Call Home 機能をイネーブルまたはディセーブルにするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	設定モードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>service call-home</b>	Call Home 機能をイネーブルにします。

## Call Home 通信のテスト

Call Home 通信は、メッセージを 2 種類のコマンドを使用して手動で送信することによってテストできます。

- ユーザ定義の Call Home テスト メッセージを送信する場合は、**call-home test** コマンドを使用します。
- 各アラート グループ メッセージを送信する場合は、**call-home send** コマンドを使用します。

## Call Home テスト メッセージの手動送信

Call Home テスト メッセージを手動で送信するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>call-home test</b> ["test-message"] <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルにテスト メッセージを送信します。テスト メッセージは任意にユーザが定義できますが、スペースが含まれる場合は、引用符 (" ") で囲む必要があります。ユーザ定義のメッセージを設定しなければ、デフォルト メッセージが送信されます。

次に、Call Home テスト メッセージを手動で送信する例を示します。

```
Switch# call-home test "test of the day" profile Ciscotac1
```

## Call Home アラート グループ メッセージの手動送信

Call Home アラート グループ メッセージを手動でトリガーするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>call-home send alert-group configuration</b> [profile name]	設定アラート グループ メッセージを、1つの宛先プロファイル (指定した場合)、または登録されたすべての宛先プロファイルに送信します。
	Switch# <b>call-home send alert-group diagnostic</b> {module number   slot/subslot   slot/bay} [profile name]	診断アラート グループ メッセージを、設定された宛先プロファイル (指定した場合)、または登録されたすべての宛先プロファイルに送信します。診断情報を送信するモジュールまたはポートを指定する必要があります。
	Switch# <b>call-home send alert-group inventory</b> [profile name]	コンポーネント アラート グループ メッセージを、1つの宛先プロファイル (指定した場合)、または登録されたすべての宛先プロファイルに送信します。

Call Home アラート グループ メッセージを手動で送信する場合は、次の注意事項に留意してください。

- 手動で送信できるのは、設定、診断、およびコンポーネント アラート グループだけです。
- 設定、診断、またはコンポーネント アラート グループ メッセージを手動でトリガーするときに、宛先プロファイル名を指定する場合は、プロファイルのアクティブ ステータス、サブスクリプション ステータス、または重大度設定に関係なく、メッセージが宛先プロファイルに送信されます。
- 設定またはコンポーネント アラート グループ メッセージを手動でトリガーするときに、宛先プロファイル名を指定しない場合は、指定したアラート グループへの登録が通常か定期かに関係なく、すべてのアクティブ プロファイルにメッセージが送信されます。
- 診断アラート グループ メッセージを手動でトリガーするときに、宛先プロファイル名を指定しない場合は、コマンドにより次の動作が発生します。
  - minor より低い重大度の診断イベントに登録されたアクティブ プロファイルでは、モジュールまたはインターフェイスで診断イベントが認識されたかどうかに関係なくメッセージが送信されます。
  - minor 以上の重大度の診断イベントに登録されたアクティブ プロファイルでは、登録された重大度以上の診断イベントが、指定されたモジュールまたはインターフェイスで認識された場合に限り、メッセージが送信されます。それ以外の場合は、診断イベントは宛先プロファイルに送信されません。

次に、設定アラート グループ メッセージを宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group configuration
```

次に、特定のモジュール、スロット/サブスロットまたはスロット/ベイ番号に関する診断アラート グループ メッセージを宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group diagnostic module 3 5/2
```

次に、特定のモジュール、スロット/サブスロットまたはスロット/ベイ番号に関する診断アラート グループ メッセージをすべての宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group diagnostic module 3 5/2 profile Ciscotac1
```

次に、コンポーネント Call Home メッセージを送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group inventory
```

## 分析およびレポート要求の送信

**call-home request** コマンドを使用すると、ご使用のシステムの情報をシスコに送信して、システム固有の役立つ情報を受け取ることができます。セキュリティの警告、既知のバグ、ベスト プラクティス、コマンドリファレンスなど、さまざまなレポートを要求できます。

レポートおよび分析情報の要求を Cisco アウトプットインタープリタ ツールから送信するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>call-home request output-analysis</b> "show-command" [profile name] [ccoid user-id]	分析用として指定した <b>show</b> コマンドの出力を送信します。 <b>show</b> コマンドは、引用符 (" ") で囲む必要があります。
	Switch# <b>call-home request</b> {config-sanity   bugs-list   command-reference   product-advisory} [profile name] [ccoid user-id]	<b>show running-config all</b> コマンド、 <b>show version</b> コマンド、または <b>show module</b> コマンドなど、分析用としてあらかじめ決められたコマンドセットの出力を送信します。また、 <b>call-home request product-advisory</b> コマンドには、すべてのコンポーネントアラートグループコマンドが含まれます。  <b>call home request</b> コマンドのあとに指定するキーワードは、必要なレポートのタイプを示します。

Call Home レポートおよび分析要求を手動で送信する場合は、次の注意事項に留意してください。

- **profile name** 値を指定すると、要求はそのプロファイルに送信されます。プロファイル名を指定しなければ、要求は Cisco TAC プロファイルに送信されます。Call Home 要求の場合、受信側プロファイルをイネーブルにする必要はありません。要求メッセージを Cisco TAC に転送し、Smart Call Home サービスから返信を受信できるように、Transport Gateway が設定された電子メールアドレスをプロファイルに指定します。
- **ccoid user-id** 値は、Smart Call Home ユーザの登録識別情報です。**user-id** を指定すると、登録ユーザの電子メールアドレスに応答が送信されます。**user-id** を指定しなければ、応答は、装置担当者の電子メールアドレスに送信されます。
- 要求するレポートタイプを示すキーワードに基づいて、次の情報が返されます。
  - **config-sanity** : 現在の実行コンフィギュレーションに関連するベスト プラクティス情報
  - **bugs-list** : 実行バージョンおよび現在適用されている機能に関する既知のバグ
  - **command-reference** : 実行コンフィギュレーションのすべてのコマンドに対する参照リンク
  - **product-advisory** : ネットワーク内の装置に影響を与える可能性がある Product Security Incident Response Team (PSIRT) 警告、廃止 (EOL) または End of Sales (EOS; 販売終了) 警告、Field Notice (FN) のいずれか

次に、ユーザが指定した **show** コマンドの分析を要求する例を示します。

```
Switch# call-home request output-analysis "show diagnostic result module all" profile TG
```

## コマンド出力の送信

**call-home send** コマンドを使用すると、Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を実行し、コマンド出力をシスコまたは指定の電子メール アドレスに送信できます。

CLI コマンドを実行し、コマンド出力を電子メールで送信するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>call-home send</b> "command" [ <b>email</b> email-addr] [ <b>service-number</b> SR]	指定された CLI コマンドを実行し、出力を電子メールで送信します。

コマンドの出力を送信する際、次の注意事項に留意してください。

- CLI コマンドには、すべてのモジュールのコマンドなど、任意の実行コマンドを指定できます。コマンドは引用符 ( " ") で囲む必要があります。
- 電子メール アドレスを指定した場合、そのアドレスにコマンド出力が送信されます。電子メール アドレスを指定しない場合は、Cisco TAC (attach@cisco.com) に出力が送信されます。電子メールは件名の行にサービス番号 (指定した場合) が付いたロング テキスト形式で送信されます。
- 電子メール アドレスを指定しない場合、または Cisco TAC 電子メール アドレスを指定した場合に限り、サービス番号が必要になります。

次に、CLI コマンドの出力をユーザ指定の電子メール アドレスに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send "show diagnostic result module all" email support@example.com
```

## Smart Call Home の設定およびイネーブル化

Cisco Smart Call Home サービスのアプリケーションおよび設定については、次の URL にある『*Smart Call Home User Guide*』の「FastStart」を参照してください。

<http://www.cisco.com/go/smartcall/>

ユーザ ガイドでは、Smart Call Home メッセージを、装置から直接、または Transport Gateway (TG) 集約ポイント経由で送信する場合の設定例について説明しています。TG 集約ポイントは、複数装置のサポートが必要な場合、またはインターネットに装置を直接接続できないセキュリティ要件が規定されている場合に使用できます。

『*Smart Call Home User Guide*』で説明するように、Smart Call Home サービスは転送方式として HTTPS を使用するため、同時にトラストポイントの CA を設定する必要があります。

## Call Home 設定情報の表示

設定された Call Home 情報を表示するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
	Switch# <b>show call-home</b>	Call Home 設定の概要を表示します。
	Switch# <b>show call-home detail</b>	Call Home 設定の詳細を表示します。
	Switch# <b>show call-home alert-group</b>	利用可能なアラート グループとそのステータスを表示します。

コマンド	目的
Switch# <b>show call-home mail-server status</b>	設定された電子メール サーバの可用性をチェックして表示します。
Switch# <b>show call-home profile</b> {all   name}	指定された宛先プロファイルの設定を表示します。すべての宛先プロファイルの設定を表示するには、キーワード <b>all</b> を使用します。
Switch# <b>show call-home statistics</b>	Call Home イベントの統計情報を表示します。

例 56-1 ~ 56-7 は、**show call-home** コマンドの各種オプションを使用した結果を示しています。

#### 例 56-1 Call Home 設定情報

```
Switch# show call-home
Current call home settings:
  call home feature : disable
  call home message's from address: switch@example.com
  call home message's reply-to address: support@example.com

  vrf for call-home messages: Not yet set up

  contact person's email address: technical@example.com

  contact person's phone number: +1-408-555-1234
  street address: 1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345
  customer ID: ExampleCorp
  contract ID: X123456789
  site ID: SantaClara
  Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1
  Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2
  Rate-limit: 20 message(s) per minute

Available alert groups:
  Keyword                State  Description
  -----
  configuration           Disable configuration info
  diagnostic              Disable diagnostic info
  environment            Disable environmental info
  inventory               Enable  inventory info
  syslog                  Disable syslog info

Profiles:
  Profile Name: campus-noc
  Profile Name: CiscoTAC-1

Switch#
```

#### 例 56-2 Call Home 設定情報の詳細

```
Switch# show call-home detail
Current call home settings:
  call home feature : disable
  call home message's from address: switch@example.com
  call home message's reply-to address: support@example.com

  vrf for call-home messages: Not yet set up

  contact person's email address: technical@example.com

  contact person's phone number: +1-408-555-1234
```

```

street address: 1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345
customer ID: ExampleCorp
contract ID: X123456789
site ID: SantaClara
Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1
Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2
Rate-limit: 20 message(s) per minute

```

Available alert groups:

Keyword	State	Description
configuration	Disable	configuration info
diagnostic	Disable	diagnostic info
environment	Disable	environmental info
inventory	Enable	inventory info
syslog	Disable	syslog info

Profiles:

Profile Name: campus-noc

```

Profile status: ACTIVE
Preferred Message Format: long-text
Message Size Limit: 3145728 Bytes
Transport Method: email
Email address(es): noc@example.com
HTTP address(es): Not yet set up

```

Alert-group	Severity
inventory	normal
Syslog-Pattern	Severity
N/A	N/A

Profile Name: CiscoTAC-1

```

Profile status: ACTIVE
Preferred Message Format: xml
Message Size Limit: 3145728 Bytes
Transport Method: email
Email address(es): callhome@cisco.com
HTTP address(es): https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService

```

Periodic configuration info message is scheduled every 1 day of the month at 09:27

Periodic inventory info message is scheduled every 1 day of the month at 09: 12

Alert-group	Severity
diagnostic	minor
environment	warning
inventory	normal
Syslog-Pattern	Severity
.*	major

Switch#

### 例 56-3 利用可能な Call Home アラート グループ

Switch# **show call-home alert-group**

Available alert groups:

Keyword	State	Description
configuration	Disable	configuration info
diagnostic	Disable	diagnostic info

```

environment          Disable environmental info
inventory            Enable inventory info
syslog               Disable syslog info

```

Switch#

#### 例 56-4 電子メール サーバのステータス情報

```

Switch# show call-home mail-server status
Please wait. Checking for mail server status ...

```

```

Translating "smtp.example.com"
Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1 [Not Available]
Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2 [Not Available]

```

Switch#

#### 例 56-5 すべての宛先プロファイルの情報（既定およびユーザ定義）

```

Switch# show call-home profile all

```

```

Profile Name: campus-noc
  Profile status: ACTIVE
  Preferred Message Format: long-text
  Message Size Limit: 3145728 Bytes
  Transport Method: email
  Email address(es): noc@example.com
  HTTP address(es): Not yet set up

Alert-group          Severity
-----
inventory            normal

Syslog-Pattern      Severity
-----
N/A                  N/A

Profile Name: CiscoTAC-1
  Profile status: ACTIVE
  Preferred Message Format: xml
  Message Size Limit: 3145728 Bytes
  Transport Method: email
  Email address(es): callhome@cisco.com
  HTTP address(es): https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService

Periodic configuration info message is scheduled every 1 day of the month at 09:27

Periodic inventory info message is scheduled every 1 day of the month at 09:12

Alert-group          Severity
-----
diagnostic           minor
environment           warning
inventory            normal

Syslog-Pattern      Severity
-----
.*                   major

Switch#

```



## 例 56-6 ユーザ定義の宛先プロファイルの情報

```
Switch# show call-home profile CiscoTAC-1
Profile Name: CiscoTAC-1
  Profile status: INACTIVE
  Preferred Message Format: xml
  Message Size Limit: 3145728 Bytes
  Transport Method: email
  Email address(es): callhome@cisco.com
  HTTP address(es): https://tools.cisco.com/its/service/odcce/services/DDCEService

  Periodic configuration info message is scheduled every 11 day of the month at 11:25

  Periodic inventory info message is scheduled every 11 day of the month at 11:10

  Alert-group          Severity
  -----
  diagnostic           minor
  environment         warning
  inventory            normal

  Syslog-Pattern      Severity
  -----
  .*                  major
```

## 例 56-7 Call Home 統計情報

```
Switch# show call-home statistics
Message Types      Total      Email      HTTP
-----
Total Success     0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Total In-Queue    0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Total Failed      0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0
```

```

Total Ratelimit
  -dropped 0          0          0
  Config   0          0          0
  Diagnostic 0        0          0
  Environment 0      0          0
  Inventory 0        0          0
  SysLog   0          0          0
  Test     0          0          0
  Request  0          0          0
  Send-CLI 0         0          0

```

```
Last call-home message sent time: n/a
```

## デフォルト設定

表 56-2 は、デフォルトの Call Home 設定を示しています。

表 56-2 デフォルトの Call Home 設定

パラメータ	デフォルト
Call Home 機能ステータス	ディセーブル
ユーザ定義プロファイル ステータス	アクティブ
あらかじめ定義された Cisco TAC プロファイル ステータス	非アクティブ
転送方式	電子メール
メッセージ形式タイプ	XML
ロング テキスト、ショート テキスト、または XML 形式で送信されるメッセージの宛先メッセージ サイズ	3,145,728
アラート グループ ステータス	イネーブル
Call Home メッセージ重大度しきい値	1 (normal)
1 分あたりのメッセージに対するメッセージ レート制限	20

## アラート グループ トリガー イベントおよびコマンド

Call Home トリガー イベントはアラート グループに分類されており、イベント発生時に実行する CLI コマンドが各アラート グループに割り当てられます。CLI コマンド出力は、送信メッセージに挿入されます。表 56-3 は、各アラート グループに分類されたトリガー イベントとともに、各イベントの重大度、アラート グループで実行される CLI コマンドなどを示しています。

表 56-3 Call Home アラート グループ、イベント、および動作

アラート グループ	Call Home トリガー イベント	Syslog イベント	重大度	説明および実行される CLI コマンド
Syslog				syslog に保存されるイベント (syslog レベル 0、1、または 2 の場合、TAC だけに送信) 実行される CLI コマンド： <b>show logging</b> <b>show inventory</b>
	SYSLOG	LOG_EMERG	0	システムが使用不可能な状態

表 56-3 Call Home アラート グループ、イベント、および動作 (続き)

アラート グループ	Call Home トリガー イベント	Syslog イベント	重大度	説明および実行される CLI コマンド
	SYSLOG	LOG_ALERT	1	即座に対策をとる必要あり
	SYSLOG	LOG_CRIT	2	クリティカルな状態
	SYSLOG	LOG_ERR	3	エラー状態
	SYSLOG	LOG_WARNING	4	警告状態
	SYSLOG	LOG_NOTICE	5	正常だが注意を要する状態
	SYSLOG	LOG_INFO	6	情報
	SYSLOG	LOG_DEBUG	7	デバッグ レベル メッセージ
環境				電源、ファン、および環境感知素子 (温度アラームなど) に関連するイベント (TAC に送信) 実行される CLI コマンド: <b>show module</b> <b>show environment</b> <b>show logging</b> <b>show power</b> <b>show inventory</b>
	TEMP_FAILURE	TempHigh	4	シャーシの温度が正常しきい値以上
	TEMP_FAILURE	Critical Temp	4	シャーシの温度が重大しきい値を超過
	TEMP_FAILURE	Shutdown Temp	4	シャーシの温度が高温、システム シャットダウン
	TEMP_RECOVER	TempOk	4	シャーシの温度は正常
	POWER_FAILURE	PowerSupplyBad	4	電源が故障またはオフ
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyGood	4	故障した電源が修復
	POWER_FAILURE	PowerSupplyFanBad	4	電源ファンが故障
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyFanGood	4	故障した電源ファンが修復
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyOutputIncreased	4	電源ファン出力上昇
	POWER_FAILURE	PowerSupplyOutputDecreased	4	電源ファン出力低下
	POWER_FAILURE	InlinePowerSupplyBad	4	電源からのインライン パワー ソースが故障またはオフ
	POWER_RECOVERY	InlinePowerSupplyGood	2	故障したインライン パワー ソースが修復
	FANTRAY_FAILURE	FanTrayPartialFailure	2	システム ファン トレイのファンまたはサーミスタが故障

## ■ アラートグループトリガー イベントおよびコマンド

表 56-3 Call Home アラートグループ、イベント、および動作 (続き)

アラートグループ	Call Home トリガー イベント	Syslog イベント	重大度	説明および実行される CLI コマンド
	FANTRAY_FAILURE	FanTrayBad	4	ファントレイが故障
	FANTRAY_RECOVERY	FanTrayGood	4	故障したファントレイが修復
	CLOCK_ALARM	ClockSwitchover	2	クロックモジュールを別のクロックに切り替え
コンポーネント				<p>コンポーネントステータスは、装置のコールドブートが起動されるたびに表示されるか、Field Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) が着脱されたときに表示されます。クリティカルイベントとは見なされないため、ステータスやタイトルの情報として使用されます。</p> <p>実行される CLI コマンド:</p> <pre>show module show version show inventory oid show idprom all show power</pre>
	INSERTION	Module	2	ラインカードまたはスーパーバイザエンジンをスロットに挿入
	REMOVAL	Module	4	ラインカードまたはスーパーバイザエンジンをスロットから取り外し
診断障害			4	<p>標準またはインテリジェントラインカードに関連するイベント</p> <p>実行される CLI コマンド:</p> <pre>show module show version show inventory show buffers show logging show diagnostic result module x detail show diagnostic result module all</pre>

表 56-3 Call Home アラート グループ、イベント、および動作 (続き)

アラート グループ	Call Home トリガー イベント	Syslog イベント	重大度	説明および実行される CLI コマンド
Test	TEST		4	ユーザの作成によるテスト メッセージ 実行される CLI コマンド： <b>show module</b> <b>show version</b> <b>show inventory</b>
設定			4	ユーザの作成による設定要求 実行される CLI コマンド： <b>show module</b> <b>show inventory</b> <b>show version</b> <b>show running-config all</b> <b>show startup-config</b>

## メッセージ コンテンツ

次の表は、アラート グループ メッセージのコンテンツ形式を示しています。

- 表 56-4 では、ショート テキスト メッセージのコンテンツ フィールドについて説明します。
- 表 56-5 では、すべてのロング テキストおよび XML メッセージに共通のコンテンツ フィールドについて説明します。特定のアラート グループ メッセージに固有のフィールドが共通フィールドの間に追加され、挿入場所が明示されています。
- 表 56-6 では、対処的メッセージ (TAC を必要とするシステム障害) および予防的メッセージ (システム パフォーマンス低下の原因となる問題) で挿入されるコンテンツ フィールドについて説明します。
- 表 56-7 では、コンポーネント メッセージに挿入されるコンテンツ フィールドについて説明します。

表 56-4 ショート テキスト メッセージの形式

データ項目	説明
装置識別名	設定された装置名
日時タイム スタンプ	トリガー イベントのタイム スタンプ
エラー分離メッセージ	トリガー イベントの簡易説明 (英語)
アラーム緊急度	エラー レベル (システム メッセージに適用されるエラー レベルなど)

表 56-5 すべてのログ テキストおよび XML メッセージに共通のフィールド

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
タイム スタンプ	ISO 時間表記によるイベントの日時タイム スタンプ : YYYY-MM-DDTHH:MM:SS  日付と時刻の間に T を記載します。Universal Time Coordinated (UTC; 世界標準時) との timezone/dst 差は計算済みです。	CallHome/EventTime
メッセージ名	メッセージの名前。	ショート テキスト メッセージの場合のみ
メッセージ タイプ	"Call Home" を指定。	CallHome/Event/Type
メッセージ グループ	"reactive" を指定。"reactive" はデフォルトのため、この場合は任意。	CallHome/Event/SubType
重大度	メッセージの重大度。	Body/Block/Severity
送信元 ID	このフィールドは、ワークフロー エンジンによるルーティングで製品タイプの識別に使用します。一般に製品ファミリ名です。	ロング テキスト メッセージの場合のみ
Device ID	メッセージを生成するエンド デバイスの Unique Device Identifier (UDI)。メッセージがファブリック スイッチに固有のものでない場合、このフィールドは空です。  形式 : type@Sid@serial  ここで @ : セパレータ文字  <ul style="list-style-type: none"> <li>type : WS-C4503-E の場合、バックプレーン Serial Electrically Erasable Programmable Read Only Memory (EEPROM) から読み取られる製品モデル番号</li> <li>Sid : シャーシ シリアル番号のシリアル ID 識別子 "C"</li> <li>Serial : Sid フィールドの識別子に対するシリアル番号</li> </ul> 例 : "WS-C4503-E@C@SPE4465329F"	CallHome/Customer Data/ContractData/DeviceId
カスタマー ID	契約情報またはその他サポート サービスの ID に使用されるユーザ設定可能なオプション フィールド。	CallHome/Customer Data/ContractData/CustomerId
契約 ID	契約情報またはその他サポート サービスの ID に使用されるユーザ設定可能なオプション フィールド。	/CallHome/Customer Data/ContractData/ContractId
サイト ID	シスコが提供するサイト ID またはその他代替サポート サービスに重要なデータに使用されるユーザ設定可能なオプション フィールド。	CallHome/CustomerData/ContractData/SiteId

表 56-5 すべてのログ テキストおよび XML メッセージに共通のフィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
サーバ ID	メッセージがファブリック スイッチから生成される場合、スイッチの UDI。メッセージが MA で代行または発信される場合、MA はこのフィールドを MA UDI で上書きします。 形式は <code>type@Sid@serial</code> になります。 ここで @ : セパレータ文字 <ul style="list-style-type: none"> <li>type : WS-C4510R の場合、バックプレーン SEEPROM から読み取られる製品モデル番号</li> <li>Sid : シャーシ シリアル番号のシリアル ID 識別子 "C"</li> <li>Serial : Sid フィールドの識別子に対するシリアル番号</li> </ul> 例 : "WS-C4510R@C@CAT234765XR"	ログ テキスト メッセージの場合のみ
メッセージの説明	ショート テキストによるエラーの説明。	CallHome/MessageDescription
Device name	イベントを検出したノード。装置のホスト名です。	CallHome/CustomerData/SystemInfo/Name
担当者名	イベント検出ノードに関連する問題を連絡する担当者の名前。	CallHome/CustomerData/SystemInfo/Contact
担当者の電子メール	この装置に指定された担当者の電子メール アドレス。	CallHome/CustomerData/SystemInfo/ContactEmail
担当者の電話番号	この装置に指定された担当者の電話番号。	CallHome/CustomerData/SystemInfo/ContactPhoneNumber
番地	この装置に関連付けられた RMA 部品発送先の番地を格納するオプション フィールド。	CallHome/CustomerData/SystemInfo/StreetAddress
モデル名	装置のモデル名 (WS-C4503 など)。製品ファミリ名に含まれる固有モデルです。	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Model
シリアル番号	装置のシャーシ シリアル番号。	CallHome/Device/Cisco_Chassis/SerialNumber
シャーシ部品番号	SEEPROM から読み取られるシャーシの上位アセンブリ番号 (WS-C4503 = 73-10558 など)。	CallHome/Device/Cisco_Chassis/AdditionalInformation/AD@name="PartNumber"

次に、特定のアラート グループ メッセージに固有のフィールドを追加します。

次のフィールドは、このアラート グループで複数の CLI コマンドを実行する場合、繰り返し使用できます。

コマンド出力の名前	実行したコマンドの正確な記述 ( <b>show running-config</b> コマンドなど)	/aml/attachments/attachment/name
-----------	---	----------------------------------

## ■ メッセージコンテンツ

表 56-5 すべてのログ テキストおよび XML メッセージに共通のフィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
添付タイプ	コマンド出力を指定	/aml/Attachments/attachment@type
MIME タイプ	通常は text/plain または 符号化タイプ	/aml/Attachments/Attachment/Data@encoding

表 56-6 対処的または予防的イベント メッセージに挿入されるフィールド

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
シャーシハードウェアバージョン	シャーシのハードウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/HardwareVersion
スーパーバイザモジュールソフトウェアバージョン	最上位ソフトウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/AdditionalInformation/AD@name="SoftwareVersion"
問題を起こした FRU 名	イベントメッセージを生成している問題の FRU の名前	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/Model
問題を起こした FRU のシリアル番号	問題を起こした FRU のシリアル番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SerialNumber
問題を起こした FRU の部品番号	問題を起こした FRU の部品番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/PartNumber
FRU スロット	イベントメッセージを生成している FRU のスロット番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/LocationWithinContainer
FRU ハードウェアバージョン	問題を起こした FRU のハードウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/HardwareVersion
FRU ソフトウェアバージョン	問題を起こした FRU で動作するソフトウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SoftwareIdentity/VersionString

表 56-7 コンポーネント イベント メッセージに挿入されるフィールド

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
シャーシハードウェアバージョン	シャーシのハードウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/HardwareVersion
スーパーバイザモジュールソフトウェアバージョン	最上位ソフトウェアバージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/AdditionalInformation/AD@name="SoftwareVersion"



表 56-7 コンポーネント イベント メッセージに挿入されるフィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト および XML)	説明 (プレーン テキストおよび XML)	XML タグ (XML のみ)
問題を起こした FRU 名	イベント メッセージを生成している問題の FRU の名前	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/Model
問題を起こした FRU のシリアル番号	問題を起こした FRU のシリアル番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SerialNumber
問題を起こした FRU の部品番号	問題を起こした FRU の部品番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/PartNumber
FRU スロット	イベント メッセージを生成している FRU のスロット番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/LocationWithinContainer
FRU ハードウェア バージョン	問題を起こした FRU のハードウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/HardwareVersion
FRU ソフトウェア バージョン	問題を起こした FRU で動作するソフトウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SoftwareIdentity/VersionString

## ログ テキスト形式による Syslog アラート通知の例

```

TimeStamp : 2009-02-06 12:57 GMT+00:00
Message Name : syslog
Message Type : Call Home
Message Group : reactive
Severity Level : 2
Source ID : Cat4500/4900
Device ID : WS-C4510R@C@1234567
Customer ID :
Contract ID :
Site ID :
Server ID : WS-C4510R@C@1234567
Event Description : *Feb 6 12:57:54.121: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all
interfaces by console
System Name : Router
Contact Email : abc@example.com
Contact Phone :
Street Address :
Affected Chassis : WS-C4510R
Affected Chassis Serial Number : 1234567
Affected Chassis Part No : 12-3456-78
Affected Chassis Hardware Version : 1.1
Supervisor Software Version : 12.2(20090204:112419)
Command Output Name : show logging
Attachment Type : command output
MIME Type : text/plain
Command Output Text :
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 1 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

```

No Inactive Message Discriminator.

```

Console logging: level debugging, 95 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Buffer logging:  level debugging, 95 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Exception Logging: size (8192 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled

```

No active filter modules.

```
Trap logging: level informational, 118 message lines logged
```

Log Buffer (4096 bytes):

```

00:59:54.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
              https://172.17.46.17/its/service/oddce/services/DDCEService
              (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb  6 00:59:55.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
              https://172.17.46.17/its/service/oddce/services/DDCEService
              (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb  6 01:04:37.903: %SYS-5-CONFIG I: Configured from console by console
*Feb  6 01:04:51.783: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb  6 01:04:56.047: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb  6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb  6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb  6 01:05:01.823: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb  6 01:05:51.827: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb  6 01:05:56.087: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb  6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb  6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb  6 01:05:56.867: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb  6 01:06:31.871: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb  6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb  6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb  6 01:06:36.907: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb  6 01:08:06.911: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb  6 01:08:11.171: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb  6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb  6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off

```

```

*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:10:35.371: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:12:06.955: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:13:12.035: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb 6 01:36:04.079: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:51:46.001: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:54:15.905: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
Switch#
Command Output Name : show inventory
Attachment Type : command output
MIME Type : text/plain
Command Output Text : NAME: "Switch System", DESCR: "Cisco Systems, Inc. WS-C4510R 10 slot
switch "
PID: WS-C4510R          , VID: V06  , SN: 1234567

NAME: "Clock Module", DESCR: "Clock Module"
PID: WS-X4K-CLOCK      , VID: V04  , SN: 12345671

NAME: "Mux Buffer 3 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345672

NAME: "Mux Buffer 4 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345673

NAME: "Mux Buffer 5 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345674

NAME: "Mux Buffer 6 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345675

NAME: "Mux Buffer 7 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345676

NAME: "Mux Buffer 8 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345677

NAME: "Mux Buffer 9 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345678

NAME: "Mux Buffer 10 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345679

NAME: "Linecard(slot 2)", DESCR: "Supervisor V-10GE with 2 10GE X2 ports, and 4 1000BaseX
SFP ports"
PID: WS-X4516-10GE    , VID: V07  , SN: 1234567A

NAME: "Linecard(slot 3)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 1234567B

```

NAME: "Linecard(slot 4)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice power ports (Cisco/IEEE)"  
 PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08 , SN: 1234567C

NAME: "Linecard(slot 5)", DESCR: "10/100BaseTX (RJ45) with 32 10/100 baseT and 4 100FX daughtercard ports"  
 PID: WS-X4232-RJ-XX , VID: V05 , SN: 1234567D

NAME: "Fan", DESCR: "FanTray"  
 PID: WS-X4582 , VID: V03 , SN: 1234567E

NAME: "Power Supply 1", DESCR: "Power Supply ( AC 1300W )"  
 PID: PWR-C45-1300ACV , VID: V05 , SN: 1234567F

NAME: "Power Supply 2", DESCR: "Power Supply ( AC 1400W )"  
 PID: PWR-C45-1400AC , VID: V04 , SN: 1234567G

## XML 形式による Syslog アラート通知の例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<soap-env:Envelope xmlns:soap-env="http://www.w3.org/2003/05/soap-envelope">
<soap-env:Header>
<aml-session:Session xmlns:aml-session="http://www.cisco.com/2004/01/aml-session"
soap-env:mustUnderstand="true"
soap-env:role="http://www.w3.org/2003/05/soap-envelope/role/next">
<aml-session:To>http://tools.cisco.com/neddce/services/DDCEService</aml-session:To>
<aml-session:Path>
<aml-session:Via>http://www.cisco.com/appliance/uri</aml-session:Via>
</aml-session:Path>
<aml-session:From>http://www.cisco.com/appliance/uri</aml-session:From>
<aml-session:MessageId>M44:1234567:abcd</aml-session:MessageId>
</aml-session:Session>
</soap-env:Header>
<soap-env:Body>
<aml-block:Block xmlns:aml-block="http://www.cisco.com/2004/01/aml-block">
<aml-block:Header>
<aml-block:Type>http://www.cisco.com/2005/05/callhome/syslog</aml-block:Type>
<aml-block:CreationDate>2009-02-06 12:58:31 GMT+00:00</aml-block:CreationDate>
<aml-block:Builder>
<aml-block:Name>Cat4500/4900</aml-block:Name>
<aml-block:Version>2.0</aml-block:Version>
</aml-block:Builder>
<aml-block:BlockGroup>
<aml-block:GroupId>G45:1234567:abcd</aml-block:GroupId>
<aml-block:Number>0</aml-block:Number>
<aml-block:IsLast>true</aml-block:IsLast>
<aml-block:IsPrimary>true</aml-block:IsPrimary>
<aml-block:WaitForPrimary>>false</aml-block:WaitForPrimary>
</aml-block:BlockGroup>
<aml-block:Severity>2</aml-block:Severity>
</aml-block:Header>
<aml-block:Content>
<ch:CallHome xmlns:ch="http://www.cisco.com/2005/05/callhome" version="1.0">
<ch:EventTime>2009-02-06 12:58:30 GMT+00:00</ch:EventTime>
<ch:MessageDescription>*Feb 6 12:58:30.293: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all
interfaces by console</ch:MessageDescription>
<ch:Event>
<ch:Type>syslog</ch:Type>
<ch:SubType></ch:SubType>
<ch:Brand>Cisco Systems</ch:Brand>
<ch:Series>Cat4k Series Switches</ch:Series>
```

```

</ch:Event>
<ch:CustomerData>
<ch:UserData>
<ch:Email>abc@example.com</ch:Email>
</ch:UserData>
<ch:ContractData>
<ch:CustomerId></ch:CustomerId>
<ch:SiteId></ch:SiteId>
<ch:ContractId></ch:ContractId>
<ch:DeviceId>WS-C4510R@C@1234567</ch:DeviceId>
</ch:ContractData>
<ch:SystemInfo>
<ch>Name>Switch</ch>Name>
<ch>Contact></ch>Contact>
<ch>ContactEmail>abc@example.com</ch>ContactEmail>
<ch>ContactPhoneNumber></ch>ContactPhoneNumber>
<ch:StreetAddress></ch:StreetAddress>
</ch:SystemInfo>
<ch:CCOID></ch:CCOID>
</ch:CustomerData>
<ch:Device>
<rme:Chassis xmlns:rme="http://www.cisco.com/rme/4.0">
<rme:Model>WS-C4510R</rme:Model>
<rme:HardwareVersion>1.1</rme:HardwareVersion>
<rme:SerialNumber>1234567</rme:SerialNumber>
<rme:AdditionalInformation>
<rme:AD name="PartNumber" value="12-3456-05" />
<rme:AD name="SoftwareVersion" value="12.2(20090204:112419)" />
<rme:AD name="SystemObjectId" value="1.2.3.4.5.6.7.537" />
<rme:AD name="SystemDescription" value="Cisco IOS Software, Catalyst 4500 L3 Switch
Software (cat4500-ENTSERVICES-M), Experimental Version 12.2(20090204:112419) Copyright (c)
1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Fri 06-Feb-09 15:22 by abc" />
</rme:AdditionalInformation>
</rme:Chassis>
</ch:Device>
</ch:CallHome>
</aml-block:Content>
<aml-block:Attachments>
<aml-block:Attachment type="inline">
<aml-block:Name>show logging</aml-block:Name>
<aml-block:Data encoding="plain">
<![CDATA[
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 1 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

No Inactive Message Discriminator.

Console logging: level debugging, 97 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Buffer logging: level debugging, 97 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Exception Logging: size (8192 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled

No active filter modules.

```

Trap logging: level informational, 120 message lines logged

Log Buffer (4096 bytes):

```

107 : Bad parameters)
*Feb 6 00:59:55.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
    https://172.17.46.17/its/service/odcce/services/DDCEService
    (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb 6 01:04:37.903: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:04:51.783: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:04:56.047: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:05:51.827: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:05:56.087: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:06:36.907: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb 6 01:08:06.911: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:08:11.171: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:10:35.371: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:12:06.955: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:13:12.035: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted

```

```
*Feb 6 01:36:04.079: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:51:46.001: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:54:15.905: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:57:54.121: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all interfaces by console
*Feb 6 12:58:24.093: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
Switch#]]></aml-block:Data>
</aml-block:Attachment>
<aml-block:Attachment type="inline">
<aml-block:Name>show inventory</aml-block:Name>
<aml-block:Data encoding="plain">
<![CDATA[NAME: "Switch System", DESCR: "Cisco Systems, Inc. WS-C4510R 10 slot switch "
PID: WS-C4510R          , VID: V06  , SN: 1234567

NAME: "Clock Module", DESCR: "Clock Module"
PID: WS-X4K-CLOCK      , VID: V04  , SN: 12345671

NAME: "Mux Buffer 3 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345672

NAME: "Mux Buffer 4 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345673

NAME: "Linecard(slot 2)", DESCR: "Supervisor V-10GE with 2 10GE X2 ports, and 4 1000BaseX
SFP ports"
PID: WS-X4516-10GE    , VID: V07  , SN: 12345674

NAME: "Linecard(slot 3)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 12345675

NAME: "Linecard(slot 4)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 12345676

NAME: "Linecard(slot 5)", DESCR: "10/100BaseTX (RJ45) with 32 10/100 baseT and 4 100FX
daughtercard ports"
PID: WS-X4232-RJ-XX    , VID: V05  , SN: 12345677

NAME: "Fan", DESCR: "FanTray"
PID: WS-X4582         , VID: V03  , SN: 12345678

NAME: "Power Supply 1", DESCR: "Power Supply ( AC 1300W )"
PID: PWR-C45-1300ACV  , VID: V05  , SN: 12345679

NAME: "Power Supply 2", DESCR: "Power Supply ( AC 1400W )"
PID: PWR-C45-1400AC  , VID: V04  , SN: 1234567A

Switch#]]></aml-block:Data>
</aml-block:Attachment>
</aml-block:Attachments>
</aml-block:Block>
</soap-env:Body>
</soap-env:Envelope>
```

